

兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 4号)

2021年11月12日発行
 兵庫のに研究所

この海域では、依然大型珪藻コシノディスカスが見られ、発生量は1Lあたり100~300細胞となっています。窒素は西浦及び南浦海域で概ね2~3 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、東浦海域で概ね3~4 $\mu\text{g-at/L}$ の値と前回調査(11/2)よりもやや上昇しています。

(珪藻ほか)

各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。

東浦: 100~300細胞、(前回値: 20~130細胞)

南浦: 130~180細胞前後(前回値: 30~200細胞程度)

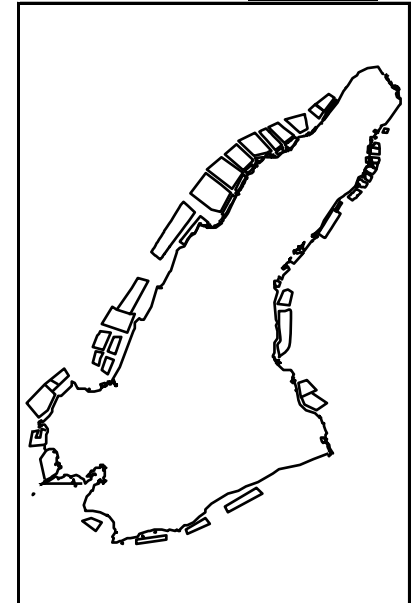
コシノディスカスの色素は前回調査(11/2)と比較して薄く、活力は低下していると思われる。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.6	3.6	6.0	1.2
	リン	0.61	0.54	0.57	0.28
西浦地先	窒素	2.2		5.7	1.8
	リン	0.59		0.65	0.44
南浦地先	窒素	2.5	2.9	5.3	3.7
	リン	0.71	0.54	0.55	0.94

(11/2)

(11/18)

水温図



栄養塩(窒素) 図

2021年11月12日調査

